

パラリンピック 聖火フェスティバルを開催します！

「パラリンピックとは？」

パラリンピックは、「もうひとつのオリンピック」と言われ、4年に一度、オリンピック競技大会の終了直後に同じ場所で開催される世界最高峰の障がい者スポーツ大会です。1960年の第1回ローマ大会には始まり、現在ではトップアスリートが高いパフォーマンスを競う世界的なスポーツイベントとなっています。

「パラリンピックの歴史」

パラリンピックの原点は、1948年、イギリスロンドン郊外のストーク・マンデビル病院内で車いす患者によるアーチERY大会が開催されたことがはじまりだとされています。リハビリテーションの一環として行われたこの大会は、回を重ね、1952年に国際大会となりました。出場者の対象を「車いす使用者」から「障がい者」に広げるとともに、実施競技を増やすことで参加国・参加選手が

増加し、かつてのリハビリテーションのためのスポーツはアスリートによる競技スポーツへと発展しました。

当初、パラリンピックは、オリンピック開催年に開催国で行われる「国際ストーク・マンデビル大会」として開催されていましたが、1988年のソウル大会からは、「もうひとつ (Parallel) + オリンピック (Olympic)」という意味で「パラリンピック」という公式名称が定められました。

「パラリンピック聖火リレーってどんなもの？」

パラリンピック聖火リレーは、オリンピックの興奮をつなぐとともに、人々にパラリンピックの精神と価値を伝える役目を持っています。

東京2020パラリンピック聖火リレーは、大会発祥の地であるイギリスのストーク・マンデビルで採火された炎と、47都道府県が独自の方法で採火した炎が、開催都市・東京で行われる「集火式」で統合され、「東京

2020パラリンピック聖火」となり、聖火ランナーが東京のまちをリレーで駆け抜け、開会式に届けられます。

8月21日(土)から行われる東京都での聖火リレーでは、沖縄県の代表者もランナーとして参加します。NHK聖火リレー専用サイトでの観覧が可能ですので、みんなで応援しましょう！

「沖縄県のパラリンピック聖火フェスティバル」

聖火フェスティバルとは、日本各地で行われる東京2020パラリンピックを応援するための「採火イベント」や、学校や病院、パラリンピックゆかりの地などへの炎の訪問イベント「聖火ビジット」の総称をいいます。沖縄県内では、8月12日(木)から14日(土)までの間に3離島を含む県内16市町で採火が行われることになっています。那覇市では国指定重要無形文化財で伝統的な垂屋陶工の住宅に残る「新垣家住宅登り窯(東又窯)」から、糸満市では平和祈念公園内

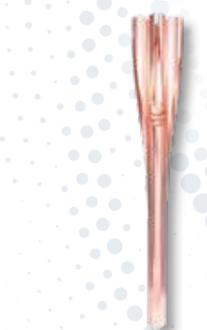


Photo by Tokyo 2020

の「平和の礎」の中央にある「平和の火」から採火し、名護市では1964年の東京大会での聖火リレーの際に聖火が宿泊した嘉陽地区で火種を起すなど、各地域がそれぞれの個性を生かし、様々な方法で採火式を行います。

県内各地で採火された炎は、8月14日(土)夕方那覇市内で行われる集火式で集められ、ひとつの炎「東京2020パラリンピック聖火(沖縄県)」となり、立宣言とともにトーチを掲げ、開催都市東京へ送り出されます。

「県民の皆さまへご協力をお願いします」

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、県内集火式及び立宣言は無観客で開催することとなりました。このご待ちにされていた多くの県民の皆様には、ご理解をいただきますようお願いいたします。なお、式典の様子は、インターネットで配信を行いますので、是非ご覧ください。

また、県内16市町で行われる採火式においても、一部、無観客での開催を予定しています。一般観覧が可能な場合であっても、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底していただくようお願いいたします。

東京2020パラリンピック沖縄県聖火フェスティバル

DAY1 8月12日(木) DAY2 8月13日(金) DAY3 8月14日(土) 採火式は以下の市町で実施されます

名護市、糸満市、久米島町、宜野湾市、宮古島市においては現時点で「無観客(関係者のみ)」での開催を予定

ご協力をお願いします

- 各市町で行われる採火式は、一部、無観客(関係者のみ)での開催を予定しています。また今後、無観客での開催に変更する場合がありますので、詳細は、沖縄県ホームページをご確認ください。
- 一般観覧が可能な場合でも、体調が悪い場合は観覧をお控え頂くとともに、マスクの着用、密集の回避、大声を出さないなど、新型コロナウイルス感染症対策にご理解とご協力をお願いします。
- 集火・立宣言については、無観客(関係者のみ)で開催いたします。式典の様子はインターネットの配信で視聴して頂くことが可能です。詳細は、沖縄県ホームページをご覧ください。

■お問い合わせ先
東京2020パラリンピック聖火リレー
沖縄県実行委員会事務局
098-917-2864
(受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00/土日祝日は除く)
沖縄県ホームページ

最新情報はこちら

DAY	No	市町	採火会場	採火方法
8/12 (木)	①	那覇市	新垣家住宅登り窯(東又窯)	登り窯の中に薪を組んで火を焚き、そこから採火
	②	名護市	嘉陽の聖火宿泊碑聖火台	聖火宿泊碑横の聖火台から採火
	③	糸満市	平和祈念公園	平和祈念公園の平和の広場の中央に灯る平和の火から採火
	④	与那原町	町内の瓦工場	瓦を作る工程の火を使って採火
8/13 (金)	⑤	豊見城市	豊見城総合公園陸上競技場	車イスアスリートにより運ばれてきた薪を繋ぎ、たいまつに薪を設置して採火
	⑥	嘉手納町	(調整中)	(調整中)
	⑦	北谷町	障害福祉サービス事業所「ニライの里」	障がい者の創作活動のため使用している陶芸窯から、点火棒にて採火ランタンへ点火
	⑧	久米島町	ソナミの烽火台	昔から伝わる火起こし方法の火錐具や、火打石から火を起こして採火
8/14 (土)	⑨	宜野湾市	普天満宮	普天満宮に祀られる日の神に因んで太陽光で採火
	⑩	石垣市	石垣市中央運動公園 陸上競技場	太陽光を利用した採火(晴天の場合) マイギリ式火熾し器(曇り・雨天の場合)
	⑪	浦添市	浦添市役所中庭	太陽光(レンズを使用し太陽光を集め採光)→種火の披露→種火の共有→種火の集火
	⑫	沖縄市	沖縄市体育館	事前にワークショップ等で作成したオリジナルろうそくを持ち寄り、参加者でろうそくの火をつないでいき、最後に採火
	⑬	うるま市	勝連城跡	世界遺産である勝連城跡にて採火
	⑭	宮古島市	(調整中)	(調整中)
	⑮	金武町	町内全ての地域(5区)	町内5つの地域でそれぞれ採火(検討中)し、當山久三翁銅像前へ集め、集火した火をランタンに点火(予定)
	⑯	八重瀬町	港川遺跡公園	港川人に扮した人が弓切り式等にて採火

実施日	内容
8月14日(土)	各市町の思いが込められた火がひとつとなる集火、完成した東京2020パラリンピック聖火(沖縄県)を開催都市東京へ送り出す立宣言の様子を、インターネットで配信

※沖縄県では聖火ビジットの実施はありません。

問い合わせ 東京2020パラリンピック聖火リレー 沖縄県実行委員会事務局 電話: 098-917-2864

TOKYO 2020
PARALYMPIC TORCH RELAY
Share Your Light
あなたは、きっと、誰かの光だ。
2021.8.12-14
沖縄県

マスク熱中症も「こえかけ」で防ごう!

こ こまめな水分補給 え 炎天下を避けよう が 風通しを良く け 健康管理

今日の暑さ指数を確認しよう!

マスク熱中症も「こえかけ」で防ごう!

こ こまめな水分補給 え 炎天下を避けよう が 風通しを良く け 健康管理

今日の暑さ指数を確認しよう!